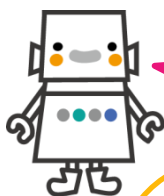


なぜ、大腸内視鏡検査が大切なの？

文責：内科医師 加藤

大腸がんは、**女性のがん死亡率第1位**、**男性では第3位**であり現在最も対策が必要ながんの1つだからです。**大腸がん検診**として現在、便潜血検査が広く行われていますが、大腸内視鏡検査を受けることで**早期がんやがんになる前段階の病変**がより多く発見され、それらを治療することにより死亡率の減少へつながる可能性が示唆されています。

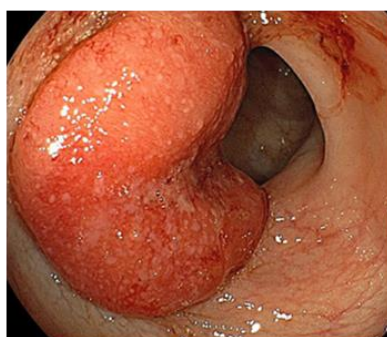


大腸内視鏡検査ってどんな検査なの？

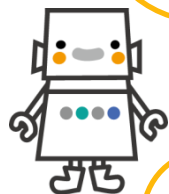
内視鏡を肛門から挿入し大腸粘膜を直接観察します。
検査中に見つかったポリープなどの病変は治療が必要な場合、治療可能な医療機関へご紹介します。



大腸ポリープ



進行大腸がん



なんだか大変そう・・・

大腸内視鏡検査では**鎮静剤**や**鎮痛剤**を使用し、なるべく苦痛の少ない方法で検査を行います。さらに、検査中は空気ではなく**炭酸ガス**を使用することで検査後のお腹の張りも軽減されます。また、検査は全て**内視鏡専門医**が担当していますのでご安心下さい。**40歳以上**の方は、定期的に内視鏡検査を受けることで、病気の早期発見や予防につながることを期待できます。



当センターには、保健指導担当の保健師、管理栄養士、健康運動指導士がいます。健診の際は、お気軽にご相談ください。